

ITコーディネータ協会設立趣旨書

(1) 時代背景

経営環境の劇的变化により、日本の産業構造自体が急速に変化している。特にデジタル技術の革新的な適用により、イントラネット、エクストラネット、インターネット、パソコン、通信回線利用などの情報技術（IT）がビジネスのあり方そのものを大きく変え始めている。

一方、米国においては、ITを活用して、情報の公開をベースに流通・製造を中心としたe-ビジネスの進展にみられるように透明度の高い経営システムが有効に運用されている。このような新しい戦略情報システムによる経済体質の革新は、我国のグローバルなマーケットにおける競争力優位を劣化させる危機をはらんでいる。

(2) 検討の経緯

1999年6月に通産省の産業構造審議会 情報産業部会 情報化人材対策小委員会の中間報告「戦略的情報化投資による経済再生を支える人材育成」において「戦略的情報化投資活性化のための環境整備の試み」として次の二点が提唱された。

ユーザ、とくに中堅・中小企業のCSO（情報化戦略担当役員）またはその候補者を徹底して支援する環境の構築

CSOの信頼を得てソリューションを提供する人材育成の推進、とくにITコーディネータ育成の促進

この中間報告では、ITコーディネータの人材像を、「経営課題を解決する為の情報戦略立案を支援し、情報システムを活用した解決方法の提案やシステム化計画の策定を行う。又、策定されたシステム化計画、開発中のプロジェクト、運用中の情報システムの評価・改善提案を行う等あらゆる角度からの企業の情報化を支援・促進する役割を担う者」と描いている。

この意を受けて情報処理振興事業協会（IPA）の中に経営情報化推進協議会（代表幹事：河野俊二（社）日本情報システム・ユーザー協会会長）が設置され、通商産業省、情報処理振興事業協会と共に、日本の産業競争力回復を目指した公的プロジェクト「戦略的情報化投資活性化事業」（ITSSP）を発足させた。

ITSSPの活動概要は次の5点である。

ミSSIONナリー（伝道師）活動：著名人によるセミナー開催、ITや経営の専門家との対話による啓蒙活動

ITSSP情報提供センター：各種情報を提供するインターネット上のデータバンク

ITSSP情報交流広場：「経営者のための 経営者による 経営者ネット」

経営戦略責任者交流会：経営者同士のサロン（専門家がコーディネータ）

ITコーディネータ制度の検討

（３）設立の趣旨

特定非営利活動法人日本 IT コーディネータ協会は、IT コーディネータ制度の中核的存在であり、戦略的な情報化投資に熱意と意欲を持つ不特定多数のものに対して支援活動を行うとともに、ITSSP活動を通じて検討された人材像であるITコーディネータを資格制度として確立し、カリキュラムの提供、資格の認定を通じてITコーディネータの育成、普及をはかる。また、ITコーディネータに対して継続教育、情報交換の提供などの各種支援を行い、もって企業や諸団体の経営活動における情報技術活用の浸透と、それによる企業の国際競争力維持、ひいては、活力ある経済社会の発展など、広く公益の増進に寄与することを目的とする。と同時にこの機構・機能は広くアジアをはじめとする各国の範となることを目指すものである。

その機能の概要は次の５点である。

CSO間で悩みや情報を交換できるCSOコミュニティを設置する。

戦略的な情報化投資に意欲をもつCSOとITコーディネータとの協業の機会を設定する。

専門家としての条件を満たすITコーディネータを養成する。

- ・ 基準、ガイドラインの設定と管理
- ・ 試験、認定制度の制定と実施
- ・ 継続教育の実施
- ・ 倫理規定の設定と管理
- ・ 研究開発の実行

急速な社会環境の変化に柔軟かつ迅速に対応するためには、ITコーディネータ相互の知識、経験を共有し自己研鑽を支援する。

ユーザCSOとベンダーが共通の目的に向かって対話する場を設定する。

平成12年10月31日

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

代表者 氏名 河野俊二

印